

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17022	ため池ハザードマップ作成事業	課名	産業振興課 農業G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進		06:農林水産業費
	施策の方向	03:地域防災力の向上		01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-	05:農地費		
事業予定期間	H 29 ~ H 30 年度		主な根拠法令要綱等 農村地域防災減災事業実施要綱	

② 目的・概要	対象	防災重点ため池が破堤した場合に影響がある住民
	目的	防災重点ため池に指定されている農業用ため池において、地震や豪雨によって破堤した場合、人命や財産などに大きな影響をもたらす危険性があるため、浸水被害の範囲や避難場所などの情報をわかりやすく地域住民の方々に提供することを目的とする。
概要	農業用ため池の存在周知及び浸水被害範囲並びに緊急避難場所などを示すマップを作成する。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○ハザードマップ作成 ・補助事業対象箇所 3箇所 ○ハザードマップの公表 ・ホームページへの掲載等 3箇所	○ハザードマップ作成 ・単独事業対象箇所 10箇所 ○ハザードマップの公表 ・ホームページへの掲載等 10箇所		
	年度実績	○ハザードマップ作成 ・補助事業対象箇所 3箇所 ○ハザードマップの公表 ・ホームページへの掲載等 3箇所			
事業費	計画額	事業費	1,500千円	5,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金	1,500千円		
		地方債			
		その他			
予算額	事業費	事業費	1,500千円	5,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金	1,500千円		
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	事業費 ①	1,490千円		
		国庫支出金			
		県支出金	1,490千円		
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費 ②	総人件費 ②	1,536千円		
		一般職員	1,536千円		
		所要人員	0.20		
		臨時職員等	0千円		
		総コスト(①+②)	3,026千円		
受益者負担率	0.0%				

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	ハザードマップ作成	計画値	3	10
				実績値	3	
				単位	箇所	箇所
	②	名称	ハザードマップ公表	計画値	3	10
				実績値	3	
				単位	箇所	箇所
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおり、防災重点ため池3箇所(京丸池、北山池、長妻池)のハザードマップを作成し、関係住民に配布するとともに、市HPで公表した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 ハザードマップを作成・公表し、浸水被害の範囲や避難場所を周知することで、災害時における個人の避難行動に繋げることができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 災害時における安全確保の観点から、残りの10箇所についても、遅滞なく作成・公表していく必要がある。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 国の指導では平成32年度までに作成することとしているが、主要事業計画に基づき、速やかに全ての対象のハザードマップを作成し、地域住民等関係者に周知する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 早期に作成することで、地域住民の安全な避難活動並びに日頃の防災意識の向上や地域防災情報の共有に繋がる。	
対応時期		平成30年度	今後の方向性

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 農業グループリーダー 鳥喰 教義
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉